

## 【取組概要】

- 自己保全管理の農地の一部で林地化を行っている。
- 林地化により山が保全され、いのしし対策、災害対策及び将来的な換金につなげている。

### 地域の現状

当地区は、伊万里市北部の黒川町にあり、大野岳山系の中腹に位置する森林及び棚田地域。

林地化により山が保全され災害対策につなげている。一方で、担い手農家の確保が今後の課題です。

### 協定の概要(R5)

1. 取組面積 5.4ha  
(田 5.4ha 畑 ha)
2. 交付金額 71.8万円  
個人配分 60%  
共同取組 40%
3. 協定参加者 23人  
農業者 23人

😊 交付金はこんなことに活用しています！

農道・水路管理費、農地の法面管理、周辺林地の下草刈、景観作物の付付けなど

### 取組内容

#### ステップ1 林地化の背景

高齢化や農産物価格の低迷により生産意欲が低下し自己保全管理農地（高齢化などの理由により作物を栽培しないが荒れないよう除草、耕起などの管理を行う圃場）が増加。

#### ステップ2 植林（林地化）

長尾集落では以前、集落が共同で林業の作業を行っていたこともあり植林をすすめる。クヌギを中心に植林を進め現在およそ3000㎡まで広がり、早い所で5年ほど経過し生育は順調。

#### ステップ3 農地から林地へ

写真の圃場の現在の管理者は70代だが息子世代のために植林された。クヌギは成長が早く30年くらいの間にシイタケの原木として2回は出荷できる。

#### 【地域の課題】

- ・高齢化によるマンパワーの不足。
- ・イノシシによる農作物の被害。
- ・生産意欲の低下による自己保全管理農地の増加。



下から撮影



圃場奥から撮影



横から撮影